

野外炊飯

富山県呉羽青少年自然の家

1. 準備する物

(1) 利用者が持参する物

各自： 軍手、箸・スプーン、食器（※食器…1枚 30円の使い捨てのトレーは所に注文できます。
または無料で食器の貸し出し可能です。）

団体： 焚き付け用新聞紙(なるべく灰が飛ばないように、ねじって使ってください。)、着火具、うちわ、ふきん、スポンジ、金たわし、食器用洗剤、クレンザー、ゴミ袋、台ふき

(2) 所で準備する物

• 野外炊飯準備棟 →

道具（黄色かご）セット……まな板2、寸胴鍋、釜
ボールセット……さいばし、おたま、しゃもじ、ボール、ざる、包丁2、フライ返し
そのほか …… 鉄板、ロストル、水切り、なた、掃除用具

• 薪小屋 → 薪(一人 50円)

• 野外炊飯場 → レンガ

• 食堂 → 食材(活動計画表に記入して注文)

図1

2. 事前の役割分担

調理係…食堂から食材を運ぶ。調理する。

(食後) 残菜、ゴミの後始末。調理場の清掃。

道具係…食器（本館）、道具（道具小屋）を運ぶ。寸胴鍋にすす防止の泥をぬる。（※図2）

(食後) 道具を洗い、片付ける。

かまど係…かまどを作る。薪を準備する。火をつける。火を調節する。

(食後) かまどを片付ける。活動場所の掃除をする。

3. 活動の手順

(1) 所員と引率者が打合せを行う。

- 活動の手順や配布物、注意事項を確認する。
- 活動場所（道具小屋、調理場、炊飯場、灰置き場、薪小屋）の確認や、ゴミ袋を設置する。

(2) 作り方の説明を聞く。（ご要望に応じ所員が行います。）

(3) 活動1

調 食堂に食材を取りに行く。

道 道具セット、ボールセットを運び、水洗いをする。

か 炊飯場所を決める。（かまどの設置場所）

(4) 活動2

調 食材を洗い、切る。

道 鍋に泥をぬる。食器（借りる場合）を玄関に取りに行く。

か レンガを運び、かまどを作る。薪の準備をする。



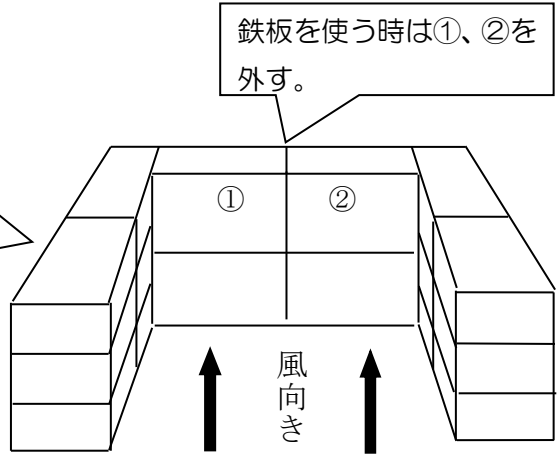
図1



図2

<かまど作りについて>

- 平らなところを選ぶ
- 隣のグループと3メートル以上間をあける
- レンガは16個使う
- 入口から風が入るように向きに注意する



(5) 活動3

調調理する。

道使い終わった道具(包丁やまな板など)を洗う。

か火をつける。

※かまどを作ってもすぐには点火せず、食材の調理の進み具合を確認してから、点火する。

(6) グループごとに会食

※ 野外炊飯場 (テーブルはありません。いすは丸太ベンチを活用してください。)

※ 南テラス (テーブルといすがあります。)

(7) 片付ける

調残菜、ゴミの後始末…生ゴミ、食べ残しを大きなゴミ袋にまとめる。生ゴミとプラスチック系のゴミは分別し、所の車庫の隣のゴミ捨て場に持って行く。ペットボトルや空き缶は持ち帰る。

道食器、道具の片付け…鍋の泥は道具小屋前の水場で流す。道具、食器をきれいに洗い、ふきんで拭いて道具小屋へ運び、入口で指導者に点検してもらう。指導者の確認後、道具小屋内で所員に点検してもらう。

かかまどを片付ける …レンガは冷めてから元の場所に運び、きれいに積む(レンガを投げない!!) 一輪車の荷台に水を入れて角スコップを使って灰をのせる。灰を灰置き場に運び、再度バケツで水をかける。(かまどの火は水などで消さないで、燃やし尽くす。) かまどのあった場所をきれいにする。